

Amir Tsarfati 氏

中東情勢スペシャルアップデート 2017年 11月 7日公開

.....
ロンドンのヒースローより、シャローム。サウンドがあまり良くない事を、先に謝っておきます。空港の人混みの中にいるので、アナウンスなどが入ると思います。それでも、こうした状況の中でも、情勢をお伝えできることの方が大切です。サンフランシスコを出て、私は現在、テルアビブに帰る途中のロンドンに到着しました。

この週末、サウジの首都リヤドから、騒動以外の何ものでもない事態が展開し始めました。大きなロケットが、リヤドの国際空港に向けて発射されたのですから、大騒動です。ロケットは、サウジのパトリオットミサイルで迎撃されましたが、周辺はパニックに陥り、大混乱となっています。今回は、テレビで生中継された上に、サウジアラビアにとって重要な国際空港だったことから、静かに収めることが出来なかったのです。サウジアラビアにロケットが放たれ、サウジアラビアに命中したのは、これが初めてではありません。しかし今回は、公共の場であったため、サウジが厳しく対処しました。2月にも、同じ型のロケットがサウジの軍用地に命中し、犠牲者を出しました。しかしその時は、サウジはどうか内密に収めることが出来たのです。理由は、

- ① イエメン側の無名の者から攻撃されたとあっては屈辱だから。
- ② これがイエメンのフーシ派であることを確認したかったのです。

彼らは、実際に何が起きているのかを把握しようとしたのです。2月以来、中東での事態が物凄い事になっています。ドナルド・トランプが大統領になった事でイランは凶暴さを増し、彼らの本性を現し始めました。イスラエルのネタニヤフ首相が全世界に伝えようとして続けてきた本性です。つまり、彼らはイラク、シリアに拡大しているだけでなく、今やレバノン、それからイラク、イエメンの両側から、サウジアラビアに押し広げています。ではここで何が起きているのか、説明します。騒動は、地域全体に様々な形で影響を及ぼしています。まず、現在中東で起きていることに、私が名前を付けるなら、これはスンニ派對シア派の戦争の第一段階だと言えるでしょう。もちろん、彼らは何百年と戦っていますよ。しかし今回は、これは戦争の話で、サウジとイランとの間で、いつでも勃発し得る戦争です。サウジの領土で、現在起きていることのためにです。イエメンやレバノン、シリアの話ではなくて、サウジ領内で、です。サウジは侵略され、権利を侵され、そして裏切られたと感じたのです。

では、溢れかえっている情報を少し整理したいと思います。サウジアラビアで起きていることについて、私の意見を求めるメールも届いています。これをクーデターだと言う人もいましたが、これはクーデターではありません。クーデターとは、政権を交代させることですが、今回は、政権が古い王や、その忠臣を取り払おうとしているのです。ともかく、遡ってお話しましょう。ドナルド・トランプは選ばれただけでなく、彼は、初外遊でサウジアラビアにやって来ました。そしてイランは、今や（アメリカに）新しい大統領、保安官がいることを理解し、それが気に入らないのです。それはトランプが、彼らの本性を知っており、彼らの真の計画を知っているからです。だから、もし彼がそれを知っていて何かをしようとしているなら、急いで先にやってしまおう、と。イラン人というのは実に利口です。彼らは、

私がこれまでにあった中で最も利口な人種です。彼らは、自分たちがテロと距離を置いている限り大丈夫だと分かっているのです。その上で彼らは、周辺の代理たちを養い、その結果を楽しみますが、自分たちが泥を被ることはないのです。それが、イラク国内ですっと起こっていることです。イランは、ハシャド・アル＝シャービと呼ばれる民兵を生み出しました。一般人の集団で、彼らのうち 15,000 人がイランから賃金を受け取っています。しかし、彼らは地元のシーア派で、サダム・フセインの政権下で長年スンニ派がイラクを支配してきたことに、超激怒しているのです。彼らにとってこれは、報復・復讐するチャンスなのです。このシーア派たちは、行く先々でイラク人のスンニ派を惨殺しています。ちなみに、これが、ISIS が誕生した理由の一つです。ISIS はイラク、シリア国内の、シーア派の勢いと拡大が原因で、これらの国で誕生したものです。それが答えだったのです。サウジは、戦争をしたくなくて、当時 ISIS が結成されるのを助けました。このように、サウジとイランの両国が、汚い仕事を他にさせ、自分たちは裏で操っているのです。犬と一緒にベッドに入れば、朝起きるとノミだらけになっているのと同じで、今回起こった事も、非常に単純です。金曜日、ブルカン 2H と呼ばれるイラン製のロケットが、——ちなみに、ヒズボラはずっと、このタイプのロケットをシリア国内で、スンニ派リベラルに対して使用していました。もちろん、あちらは小さめですが——こちらは射程距離 800 km、それがサウジアラビアの首都リヤドにある国際空港に向けて発射されたのです。それは、もう少しで空港に命中するところで、パトリオットロケットに迎撃されました。そのロケットの残骸がそこら中に落下し、周囲はパニックになりました。私が言いたいのは、同時に起こっているレバノンのハリリ首相の辞任で、——彼は辞任発表の場で、世界に向かって次のように言ったのです。彼は辞任した時サウジアラビアにいました。つながりが、お分かり頂けるでしょう。

「ヒズボラが、私の父を殺したのと同じように、私の事も殺そうとしており、私はそれを恐れている。ヒズボラは文字通り国の内部に国を創設し、イランがその地域を支配している。イランは、シリアとイラクを植民地化している。イランはアラブ界を滅ぼそうとしている。シリア、イラクで起こっていることは、彼らを取り仕切っているのだ。レバノンの政治は崩壊している。」

ハリリの父親殺害から 12 年、未だに捜査は続いています。私たちは、誰が殺したのかをはっきりと知っていますが。誰が殺したのかは、皆知っています。もう既に結論は出ています。つまり、ヒズボラがイランを通してやったことです。しかし、ヨーロッパと、オバマ政権時のアメリカは、その情報を出したくなかった。それが出ると、イラン協議の妨げになるからでした。ここでもまた、イラン協議を促進するために、イランの行いは全て隠蔽されたのです。さらにお伝えしたいのは、サウジアラビアはハリリ辞任の結果、レバノン経済を崩壊させるために、レバノンから何千万ドルという金を引き揚げています。サウジの操り人形であるバーレーンは、レバノンにいる自国民に、直ちにレバノンから出国するようにと勧告しました。恐らく、彼らがカターールにやったのと同じように、レバノンとの外交的関わりを全て切ってしまうのでしょうか。レバノンを苦しめて、あちらで内戦を起こさせるためです。ここで分かるのは、中東ではもはや国や国境が存在しないという事です。そして事態は、激しさを増しています。

皆さん、覚えておいてください。これまでの、イスラエルと周辺アラブ国家との間の戦争は、イスラエルが何かを行ったために起こったものではありません。これは常に、アラブ自身の内側の葛藤から来る、間接的な結果として起こるのです。エジプトの時もそうでした。このイエメンの内戦もそうです。自分たちの誇りと立場を回復させるために、1967 年にイスラエルを攻撃しました。それが、現在も続いている

ます。そしてもし、中東で戦争が起こるとすれば、——私たちは戦争を予測していますが——理由は町の新しい保安官、つまりロシアです。中東の戦争は、もはやイスラム諸国だけのものではありません。ロシアが関わります。ロシアは、あの地域に大量の兵士や戦闘機、戦艦を置いていますから。そして今こそ、ロシアが態度を明確にする時です。現在ロシアはイランと同盟を組んでいます。だから先週、サウジの王子がモスクワまで赴いて、プーチンと向き合って、伝えたのです。

「あなたは間違った相手と、間違った同盟を結んでいる。」と。

しかしプーチンは、イランやシリア政権から得る利益の方が多という事を理解しているのです。それによって、彼は中東駐留を維持できるからです。サウジの思うとおりにさせては、そうはならないという事を、彼は理解しています。サウジは、自分たちの抱えている全テロ組織を送り込みます。しかも、彼らは全く予測不可能です。したがって、プーチンには、彼自身の計画があるのです。彼はサウジともネタニヤフとも会うでしょう。しかし彼は既に決心を固めています。

「シリアの状況に関しては、自分はイラン、トルコと組む。」と。

シリアの状況は、中東の全体図から見て、はるかに深刻です。シリアの症状を見ると、あちらの地域で発展している全ての事態よりもはるかに大きいからです。皆さんに理解しておいてほしいのは、サウジアラビアは巨大な砂漠で、北部にイラクとの国境があり、南部にはイエメンとの国境があります。そしてその国境地帯には、サウジアラビア国内にシーア派社会が存在します。そこで、イランが現在行っているのは、国境地帯の至る所のシーア派から支持を得て、後に起こる、シーア派によるスンニ派に対する「民間の反乱」への準備をしているのです。基本的には、「サウジアラビアで苦しんでいるシーア派を助けるため」という前提の下、イラクとイエメンのシーア派が、サウジアラビアに侵略するよう仕向けよう、という考えです。これはまさに、シリアで起こった事と全く同じです。シリア国内のシーア派を、どうか「助けるため」に、イランはシーア派勢力を送り込んだのです。同じことが、現在レバノンでも起こっています。「レバノン国内のシーア派が苦しんでいる」と彼らは世界に告げますが、それが彼らの策略です。ネタニヤフ首相はずっと、これを全世界に伝えようとしているのです。イランは、アメリカにとっても世界にとっても、北朝鮮より、はるかに脅威です。イランは、宗教的な目的があります。イランの GDP（国内総生産）は北朝鮮の 30 倍、彼らは士気があり、強い信念もあって、更に、彼らには武器があります。世が彼らにそれを許せば、彼らは武器を所有します。

ですから、中東では実際に何が起きているのかを理解することは、とても重要です。これは、ドナルド・トランプが大統領になった事と、バラク・オバマが始めたアラブの春に対する、物凄い反応なのです。このように、全てです。私はずっとと言ってきましたが、中東でのワシントンの役目を無視することは出来ても、ワシントンで決定されることは何であれ、全世界に影響を及ぼすのです。聖書預言の中でのアメリカの役割は何か、とよく質問されますが、私がいつも言うのは、聖書の中にアメリカという名前は見当たらないでしょうが、この 50~60 年の間に、ホワイトハウスで決定されてきたことが、中東を形作って来ました。ユダヤ人国家の起こり、繁栄だけではなく、脅威もです。エゼキエル 38、39 章が代表する、ロシア、イラン、トルコによるシリア侵略も。これは、かなり驚きです。

次に、約一時間前（11 月 7 日）、スンニ派からのロケットがダマスカスの近郊に雨のように降り、多くの

人が殺されました。皆さんの耳には入っていないでしょうが。これは日常的に起こっていて、ISIS かあ
るいはスンニ派のリベラルが、ダマスカスを攻撃しているのです。ダマスカスの滅びといえば、イスラ
エルが何もする必要はなくて、イスラムたちがかなり良い仕事をしています。もしイスラエルが行うと
すれば、ダマスカスからイスラエルに対して、直接の脅威がある場合で、その時は当然何か行動を起こ
しますが、今のところ彼らは、しっかりと自分たちで滅ぼしています。

次に、皆さんにはもう一つ理解しておいてほしいのですが、サウジには、現在何が起きているのかが
分かっています。そして、様々な形でそれに対応しようとしています。第一に、サウジが自分たちの立
場を設立するためには、内部に敵のいない王国を設立しなければなりません。そしてご存知の通り、ト
ランプがサウジアラビアを去った直後に、サルマーン王が全てを移行し、息子を皇太子としました。彼
自身は年寄りとして退き、自分の息子をそこに置いたのです。ここ数日の間に何が起きているのかと
いうと、親・西欧＝トランプの味方＝反イラン派の皇太子ムハンマド・ビン・サルマーンが、自分の王
国を設立しようとしているのです。彼は、サウジアラビアの最大の問題は、外部のイランだけでなく、
内部の崩壊だと気づいたのです。そこで彼は、24 時間のうちに膨大な数のビジネスマンや富豪、更に王
家の一員でさえも逮捕しました。非常に興味深いことに、彼が逮捕できなかった人たちには、別の事が
起こっています。実際、昨日の日曜日は飛行機事故があって、その飛行機にはムクリン王子が搭乗して
いました。ムハンマド・ビン・サルマーン皇太子の最大の敵の一人です。そして、とても興味深いのは、
ムハンマドが皇太子に置き換えられるまで、短期間だけ彼が皇太子になっていたのです。わたしの間違
いでなければ、8 人の重役人とその仲間が一緒でした。ムハンマド・ビン・サルマーンは、崩壊と戦っ
ていると言いますが、基本的には、周囲に敵のいない国を設立しようとしているのです。他にも、多くの
王子やビジネスマンが監禁されていて、幾人かはサウジアラビアのリッツ・カールトンに監禁されてい
ます。

それから、この地域で我々が一番恐れていることについて、ネタニヤフが言及しています。彼は数日前
に、アメリカ大統領とイギリスの首相に向かってだけでなく、テレビでも言いました。

「イランは、戦闘機や兵士を持ち込んでいるだけでなく、潜水艦も持ち込んでいるのだ。また、イラン
は小型潜水艦を開発している。」

これは、カディールという小さなもので、それぞれ 2000 万ドル。彼らは既に、それらをペルシャ湾まで
到達させていて、海底に地雷を撒くために使用可能です。その海中地雷は、サウジアラビアからの石油
船を完全にマヒさせることが出来、それが彼らの目的です。ということで…ところで、この小型潜水艦
のカディールという名前は、サウジアラビア国内のシーア派の場所「Ghadir Al-Kumm」にちなんで付け
られています。このように、武器の名前までサウジアラビアの地名にちなんで付けられているのです。
私はまた、イランもしくはシーア派の動画を観ましたが、彼らは、いとも簡単にサウジアラビアを攻撃
したことを笑っているのです。先ほども言いましたが、彼らは 15,000 人の一般人兵士ハシャド・アル＝
シャービです。彼らは金儲けの為だけでなく、スンニ派を攻撃することは、彼らにとって宗教命令な
のです。今年 6 月、ほんの数か月前ですが、イラクにいるハシャド・アル＝シャービの指導者アブマフデ
ィ・アルムハンディス、彼は技術者ですが、実際にこう言っています。アメリカがテロリストとして彼
を指名手配した時に、

「我々は一旦、イラクでの仕事を完了したら、次はこの脅威をリヤドに向けて移動させる。」と。

このように、我々が目にしているのは、サウジアラビア内部の問題、それから、イラクとイエメンの方からサウジアラビアにきている問題、そして、サウジアラビアに飛んでくるロケット。それからレバノン政府の崩壊、また、サウジはレバノンに対して宣戦布告寸前であり、イランが引き続き脅威を続けるなら、イランに対しても宣戦布告する用意が来ています。これら起こっていることのすべての中で、イスラエルは自分たちが介入しないように注意しながらも、こちらに流れ弾が来ることを分かっています。だから、イスラエルが史上最大の空軍演習を行ったのも納得できる話で、初めてギリシャ、イタリア、アメリカ、カナダ、イギリス、シンガポールから空軍が演習のためにイスラエルにやって来ました。彼らは、全員イスラエルで訓練を受けています。何か大きな事に備えるために、です。

繰り返しますが、中東では緊張感が高まっています。今の時点では、イスラエルはその中に含まれていませんが、イランやヒズボラ、誰かが何らかの形でイスラエルを攻撃することで、スンニ派対シーア派抗争の利益になると考えるのは、時間の問題です。思い出すのは、アメリカが彼の領域に侵略した時の、サダム・フセインの反応です。彼は実際にイスラエルにロケットを送り込んだのです。イスラエルは、対立の結果を被るのに、侵略や、攻撃する必要も、抗争に関わる必要もないのです。ですから、これは誰もが気にかけるべき、非常に重要なことだと思います。ということで、サウジアラビア内部で現在起こっている事に関して、短いアップデートでした。

わたしが動画の中でずっと言ってきた北朝鮮に関して。アメリカ人は北朝鮮の脅威を恐れていますが、それも当然でしょう。ただ、イランはそれよりはるかに脅威的です。あの地域だけでなく、全世界にとってです。イランは、アメリカを「大サタン」、イギリスを「中サタン」、イスラエルを「小サタン」と見えています。これは、地理的にイスラエルが小さくて、アメリカが大きいだけでなく、「大サタン」であるアメリカは、最終的にイスラエルを攻撃するのに、邪魔になるからです。

皆さんに警告しておきます。わたしの動画の多くを、他の人が自分のユーチューブにアップロードしていて、その中で、彼らは違う日付を入れて、違うメッセージをあげています。つまり、彼らは私のメッセージを使って編集し、私が一度も言っていない事を、まるで私が言っているかのように見せかけているのです。ですから、私のメッセージを視聴して、私がいつ、何を言ったのかを正確に知りたい方は「Behold Israel/ビホールドイスラエル」のユーチューブチャンネルだけを観るようにしてください。おびたしい数の人が、新しくユーチューブチャンネルを立ち上げて、私の動画を使っています。中には、チャンネル名に私の名前を使っている人もいますが、私の全メッセージを妨害されず、正確な日にちで聞けるのは唯一、「Behold Israel/ビホールドイスラエル」。皆さんが登録するのは、これだけです。他のどのチャンネルでもありません。私が彼らについて警告しているこの部分も、彼らは切り取るでしょうが、ともかく彼らは私の言葉を用いて捻じ曲げて、私が全く言っていない事を、さも言っているかのように見せかけているので、注意してください。

それから、お祈りに感謝します。今イスラエルに戻る途中ですが、カナダでは、過去最大の預言カンファレンスが行われて、カナダとアメリカ西海岸のあちこちから、千人もの人が集まりました。これからカナダで毎年行い、カナダの人々に、聖書預言の観点から世界中で起こっていることを伝えていきます。それから、ベイエリアでは地元の教会で温かく迎えていただき、とても祝福されました。小さな教会でしたが、実際に起こっていることを知りたいと飢えた人たちでいっぱいでした。彼らが飢えているのは、あちらの教会が、教会の携挙という祝福された希望も、聖書預言も、世界情勢も教えないため、多くの人が来てくださったのが本当に嬉しかったです。ある人は30代でしたが、20年以上も教会に足を踏み入れたことがなかったけれど、今回来て話を聞いて、これからは毎週教会に行く、と言ってくれました。85歳の人は、「今まで聞いた中で一番素晴らしいメッセージだった」と言われましたが、これは私のメッセージではなく、聖霊が語っていることで、全て聖書に基づいたことです。私は預言者ではありませんし、自分の考えすら語りませんでしたから。私たちは、神の御言葉を学んだのです。神の御言葉には力があり、そこに多くの希望、いのちがあるのです。そして、このとんでもない世界にあって、——実際私は、数々の悪い出来事について語りましたが、私たちには素晴らしい希望があるのです。その希望とは、主イエス・キリストがその花嫁を連れて行くために来られるということです。これは、おとぎ話ではありません。彼がする、と言われたことは全て、彼は既に以前行われ、今も行っておられるのです。だから、彼が約束したことは必ずしてくださる、と私たちが信じる理由は、あらゆるところにあるのです。聖書には「約束された方は真実な方」と書かれています（ヘブル10:23参照）。だから、私たちはその希望を握りしめるのです。その希望は、祝福された希望、教会の携挙という希望です。そして、主に連れて行ってもらうためには、私たちに準備が出来ていなければならない、私たちは備えをして、主とともに歩き、主を信頼して——それから、いつも皆さんに言っていますが、ただ家でじっと携挙を待っているだけでは足りません。神を喜ばせたいと思うなら、神がしなさいと言われたことを、彼が来られるまで行うのです。つまり従事する事、出て行って、世に神の御言葉を伝えるのです。…とこう言うと、「私にはそんな能力があるとは思えない」という人がいるでしょう。誰もが、何らかの賜物を与えられています。それは、祈りであったり、経済的支援であったり、文字通り、出て行って実際に語る事かも知れません。とにかく、祈らないとか、経済的、霊的に支援しないとか、物理的に出て行って語る事もしないということはありません。自分だけ外野に出て、主が来られるのだけを待ち望む、なんてことはあり得ません。イエスは言われました。

15 **彼らをこの世から取り去ってくださるようにというのではなく、悪い者から守ってくださるようお願いいたします。**

(ヨハネ 17:15)

それから、言われました。

18 **あなたがわたしを世に遣わされたように、わたしも彼らを世に遣わしました。**

(ヨハネ 17:18)

これを私たちが理解しておくのは、とても大事なことです。私たちは遣わされたのですから。私たちは、それを握りしめるようにと義務付けられています。そして、この終わりの時に、御父の仕事に勤しむ以上に偉大な事、壮大な事、素晴らしいことはありません。もしかしたら、今現在起こっていることに関

して、恐れている人がいるかも知れません。しかし、イエスは言われましたね。「恐れるな。」彼は言われました。

33 …あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。

(ヨハネ 16:33)

つまり、今起こっていることのすべて、あなたの個人的な迫害の中にあっても、この事を覚えておきなさい、と。第一に、迫害されるということは、恐らく良いことをしているのでしょう。それから、世に起こると約束されたことは、どれ一つとして私たちには約束されていません。しかし、私たちに与えられ、これから私たちに起こる最高の約束は、

「勇敢でありなさい。わたしはすでにこの世に勝ったのです。」

そして、彼は言われました。

3 わたしが（行って、あなたがたに場所を備えたら、また）来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしのいる所（天国です）に、あなたがたをもおらせるためです。

(ヨハネ 14:3)

だから、彼は来て、私たちを連れて行きたいのです。ただ、彼が来て私たちを連れ去るまでは、私たちが主の仕事に勤しんでいることを望んでおられるのです。主人は、彼が戻って来るまで、しもべが忠実で、正しく、誠実に仕えていることを望んでおられるのです。だから皆さんにお伝えしたいのは、私は物事を耳に心地よく聞かせようとは思っていません。世の中は滅茶苦茶ですから。しかも、それは悪くなる一方です。それでも、それらの混乱のただ中にあっても、ヘブル語で言う「to-hu wa-bo-hu」のただ中にあっても、これは「茫漠としている」「形がない」という意味で、世はそうだったのです。それから、暗闇のただ中にあっても。創世記1章で、光であるイエスが来られるまでは、世はそうだったのです。そして、深い深い深みにあっても。「深い発言」と言ったり、「深く崩壊する」という言葉もあるように、深いというのは、ヘブル語では「tehom」と言って、混乱の竜、獣の別名のようなものです。これら全てのただ中にあっても、私たちには希望があります。神が「光があれ。」と言われたのですから。もちろん、人々は闇を選びますよ。人が闇を選ぶ、これは選択です。しかし、終わりには、彼がわたしたちを連れ出してくださる、そして、ここの闇は裁かれます。そして、最後の最後、新しいエルサレムが現れると、もう一度神の愛、世の光が世界を照らします。どうか黙示録 20、21 章にある、新しいエルサレムについて読んでください。聖書にはコロサイ人への手紙に「上にあるものを求めなさい」(コロサイ 3:1)とあります。だから私たちは、自分たちが主のもとに集められること、天での時間、同時に千年王国と、新しいエルサレムでの時間を考えなければなりません。私たちは、これらのことについて思うべきなのです。なぜか。それは、これが信じる者への神からの約束だからです。だから私たちは、これらの約束を握りしめなければならないのです。聖書には、ヘブル人への手紙にこうあります。

23 …希望を揺るがぬようしっかり保ちましょう

(ヘブル 10:23b 新共同訳)

揺るがないようにとは、失望するような日常の現実に動かされるな、ということです。なぜかと言えば、

23 約束して下さったのは真実な方なので、

(ヘブル 10:23a 新共同訳)

神の真実さは、あなたが信者なら、世界中に目撃し、肌で感じているでしょう。だから私たちはそれを無視することは出来ません。もしそれを無視するなら、私たちは愚か者です。数日前に私が伝えたメッセージは「ノアの日のように」動画か音声、どちらがあるのか分かりませんが、出来るだけ早くアップロードするようにします。このメッセージを聴いて、皆さんもぜひ祝福を受けて頂きたいと思います。それは一つに、ノアの時代というのは、現在私たちが生きる時代の詳細だからです。また同時に、人の娘たちと混ざるべきでないという、世代への警告でもあります。神の子らと、人の娘たちについてもお話しますが、神は、その結果を見られて「地上に人を創ったことを悔やむ」と言われました。そこに、私たちは希望を見るのです。聖書には「しかし、ノアは」(創世記 6:8)とあります。これは、私たちの物語です。

「しかし、ジョンは」、「しかし、マーガレットは」、「しかし、メアリーは」、「しかし、トムは」… 皆さん全員が「しかし、ノアは」の物語なのです。

それは、私たちがいるから、神は早急に世を裁かれないのです。しかし、彼は、もうすぐ私たちを取り去ってくださいます。そして、一旦私たちがここから取り去られると、

「しかし、ローレンは」も、「しかし、ウィリアムは」も、「しかし、アリスは」も、「しかし、トムは」も、「しかし、ルタンは」も、「しかし、クリステルは」も、「しかし、エミリーは」も、もはやありません。私たちはここを出て行きますから。その時こそ、世が裁かれる時です。

皆さんのご支援に感謝します。皆さんのお祈りに感謝します。皆さんの思い、お祈りの中にいつも私たちを置いてくださって、ありがとうございます。それから、一年の終わりに当たって、皆さんの多くが税金控除について考え、計画し、準備しておられることと思います。皆さん、どうかビホールドイスラエルへの支援をご一考くださるようお願いいたします。そうすれば、私たちはまた成長し、さらに多くの場所、さらに多くの国、世界中でさらに多くの地域にメッセージを届けることが可能になります。時代の緊迫性だけでなく、それ以上にイエス・キリストにある私たちの希望についてです。皆さんもご存知の通り、私は金銭的な話はしたことがありません。誰に対しても、お金を要求したことは一度もありません。私のホテル宿泊代を出せない教会へも行きました。ただ、これがわたしのすべきことだ、という強い信念のみで行くのです。しかし、世界中の非常に多くの方々からの惜しみない支援があるので、旅費を払えるか等何も考えずに、私は様々な国や場所に、ただ行ってメッセージを語る事が出来るのです。

皆さん、ありがとうございます。God bless you! ビホールドイスラエルのチャンネル登録をお忘れなく。ところで、ビホールドイスラエルのフェイスブックページが、今日明日にはフォロワー10万人を超えそうです！これは、記念すべきことですよ。ユーチューブチャンネルも、同じぐらいの登録がされればと願っています。なぜかと言うと、いずれフェイスブックは私をブロックするでしょうから。そうになると、私の伝達の手段は、メールかユーチューブチャンネルだけになります。ですから、Behold Israel/ビホールドイスラエルのユーチューブチャンネルを訪れて、登録してください。また、ウェブサイト

beholdisrael.orgでも、メールアドレスを記入して、毎週ニュースレターを受信してください。ありがとうございます。写真をご覧になりたい方は、インスタグラムを訪れてください。続けて「BeholdIsrael」です。以上です。

家族のもとに戻って、一週間を過ごすのがとても楽しみです。娘は今学校からポーランドに行っていて、あちらの強制収容所を訪れています。私は半分ポーランドの血が入っているので、私の家族の大部分が失われた場所を娘が訪れるのは、私にとって、とても大切な事なのです。また、これは神がどれほど真実な方であるかを思い出させます。約束してくださった方は真実で、私の家族はホロコースト（ナチスによるユダヤ人大虐殺）で滅びましたが、私は、イスラエルの地で生まれた最初の世代です。その娘が強制収容所を訪れているのです。イスラエルで生まれた女の子として、死んでいない国の女の子として、です。イスラエルの人々は生きています。これは、約束された方が真実であったからです。

ということで、ありがとうございます。God bless you! ロンドンのヒースローより、シャローム！あと3時間もすれば、搭乗して、イスラエルに戻ります。到着は午前4時だったと思いますが、まる一週間を家族と共に過ごします。とても楽しみです。皆さん、全ての事に感謝します。I love you all! お祈りしましょう。

お父様、あなたがあなたの子どもたちに対して、物凄く真実であられることに感謝します。多くの混乱、惑わし、暴力、蛮行を私たちは目にしていますが、そのただ中であって、私たちはあなたの中に希望を見出します。そして、あなたの中に喜びを見つけます。私たちの救いが、私たちの喜びであり、また、力です。そして、私たちにある希望を、私たちはしっかりと握り、揺り動かされません。約束してくださった方が、確かに真実であられることを、私たちは知っていますから。また、あなたが言われた通り、その日が近づいているのを見て、私たちはとてもワクワクしています。その日、その時は私たちには分かりません。しかし、私たちは時代、季節を確実に理解しています。主よ。私たちがこの時を生き、これら全てが起こるのを見られることに感謝します。使徒たちも見ることの出来なかった事です。そして、私たちは主の戻りを心より待ち望んでいます。聖書は、イエスが天から来られて、私たちを連れ去ってくださるのを、心から待ち望め、と私たちに伝えてあります。感謝して、あなたを祝福します。

このお祈りを、イエスの御名によっておささげします。

アーメン。

ありがとうございます。God bless you! 信仰を保って、頑張りましょう。そして、希望を忘れないでください。祝福された希望です。あなたの贖い、この悪い世からのからだの贖い（ローマ書8章）。私たちはもうすぐここを出て行きます。

ありがとうございます。God bless you! さようなら！

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>